

都市・農村共生社会創造 シンポジウム2017 in 東京

[増やせ関係人口～田園回帰は次のステージへ～]

2017
11.3 Fri
祝日

定員
200名
(先着順)

参加料
無料

●開催趣旨

最近、田園回帰する人々の中に都市と農村の共生を意識する動きが見られます。都市と農村のバランスを回復させ、お互いの暮らしを生き活きと補完する可能性が生まれつつあります。人口の奪い合いではなく、双方に関わり合いを持つ人の数=「関係人口」に着目する動きが始まっています。

田園回帰の最新動向とともに、都市と農村をつなぎ直し、互いの暮らしの質と持続性を高めていく田園回帰の次のステージを展望します。

13:00～17:00 (12:30開場)
東京国際フォーラム
「ホールD7」

東京都千代田区丸の内3丁目5-1

第1部

特別報告

新たな潮流の解明 ～田園回帰の セカンドステージ～



講師
藤山 浩氏
一般社団法人
持続可能な地域社会総合研究所 所長

第2部

連続講演

関係人口とは何か？



フリーアナウンサー
富永 美樹氏



月刊「ソトコト」編集長
指出一正氏



明治大学教授
小田切 徳美氏

第3部

パネルディスカッション

関係人口と創る未来

●コーディネーター
小田切 徳美氏
●コメントーター
指出一正氏

●パネリスト
富永 美樹氏
にいがたイナカレッジ事務局メンバー
井上 有紀氏(左)
(株)ほんぶ代表
松浦 伸也氏(右)



主催：全国町村会 一般財団法人地域活性化センター

協力：一般社団法人農山漁村文化協会(農文協)／株式会社木楽舎ソトコト編集部

都市・農村共生社会創造シンポジウム2017 in 東京

[増やせ関係人口～田園回帰は次のステージへ～]

Program

- 12:30 開場
- 13:00 開会 主催者挨拶
- 13:05 第1部 特別報告 (40分)
新たな潮流の解明
～田園回帰のセカンドステージ～
- 13:50 第2部 連続講演 (25分×3)
関係人口とは何か?
- 15:30 第3部 パネルディスカッション (80分)
関係人口と創る未来
- 17:00 閉会

田園回帰(農文協)第1巻「田園回帰1%戦略 一地元の人と仕事をとり戻す」(単著)、第8巻「世界の田園回帰 - 11か国の動向と日本の展望 -」(共著)他

富永 美樹 氏(とみなが みき)

フリーアナウンサー

千葉県生まれ。フリーアナウンサー。1998年、シャ乱Qのドラムスマことさんとの結婚を機にフジテレビを退社。現在はクイズ番組やバラエティー番組出演やイベントの司会など幅広く活躍中。夫婦共にアウトドアが好きで、その趣味が高じて富士山麓に山荘を立てるまでに。またテレビ番組の企画により、静岡県沼津市戸田での移住生活を体験。番組だけでなくとまらない発見や地域との交流も生まれている。三地域居住、移住交流の実践者。

指出一正 氏(さしで かずまさ)

月刊「ソトコト」編集長

群馬県生まれ。上智大学卒。雑誌『Outdoor』編集部、『Rod and Reel』編集長を経て、現職。島根県「しまことアカデミー」メイン講師、高知県文化広報誌『とさぶし』編集委員、静岡県『地域のお店』デザイン表彰審査委員長、奈良県「奥大和アカデミー」メイン講師、奈良県下北山村「奈良・下北山 むらこアカデミー」メイン講師、広島県「ひろしま さとやま未来博2017」総合監修、長野県長野市WEBメディア『ナガラポ』編集長をはじめ、多数の地域プロジェクトに携わる。著書に『ぼくらは地方で幸せを見つける』(ポプラ新書)。

小田切 徳美 氏(おだぎり とくみ)

明治大学教授

神奈川県生まれ。明治大学教授。専門は農村再生論、

地域ガバナンス論。東京大学大学院博士課程単位取得退学。博士(農学)。全園町村会・今後の農林漁業・農山漁村のあり方に関する研究会会長、同・農村価値創出と観光・交流に関する研究会会長、国土審議会委員、総務省過疎問題懇談会構成員。日本地域政策学会副会長。

井上 有紀 氏(いのうえ ゆき)

いがたイナカレッジ事務局メンバー

東京都出身。小さい頃から食べることに自然が好きで農学部に進学。途上国支援を志し、2年次にタイに留学するも、その後直感で日本の農山村について学ぶ。3年次のある出会いがきっかけで休学、新潟市内野町に住みながら老舗米屋さんと共に「コメタク」を立ち上げる。復学後は、いがたイナカレッジのインターンシップに参加、2017年4月より事務局である中越防災安全推進機構ムラビトデザインセンターに就職。学生の夏休みインターンシップなどを担当。

松浦 伸也 氏(まつうら しんや)

(株)ぼんぶ代表

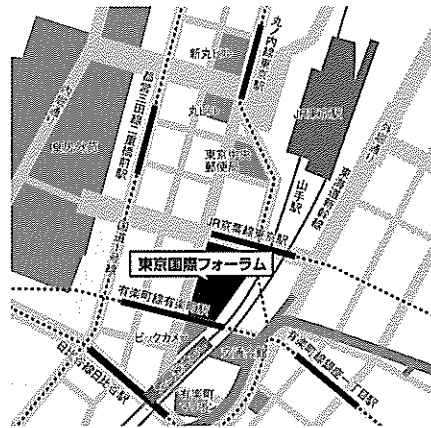
東京農大在学中、福島県鮎川村に通い里山景観保全活動を行う。卒業後、緑のふるさと協力隊として福井県池田町にて農業とまちづくりを学ぶ。同大学院卒業後、鮎川村の直売所職員として、風評被害に悩む地元農産物の販売促進を行う。翌年、生産者のいない畠田区と日本各地の生産者をつなぐ『すみだ青空市ヤッチャバ』を企画・運営。今はその運営を後進に譲り、ふるさと協力隊OBOGや元職員が中心となって、農山漁村への若者の移住・定住支援を目指した団体を設立申請中。活動の詳細はイベントでお伝えします。

Profile

藤山 浩 氏(ふじやま こう)

一般社団法人 持続可能な地域社会総合研究所 所長

島根県出身。一橋大学卒業。博士(マネジメント)。広島県立高校社会科教諭、(株)中国・地域づくりセンター主任研究員、ニュージーランド留学、広島大学大学院等を経て、1998年島根県中山間地域研究センター研究員、2013年研究統括監。2017年3月同センター退職、4月一般社団法人持続可能な地域社会総合研究所設立、所長就任。内閣府、総務省、国土交通省等の研究会等委員。著書・シリーズ



【アクセス】

- JR線
有楽町駅より徒歩1分
- 地下鉄
有楽町線/有楽町駅(B1F地下コンコースにて連絡)
千代田線/二重橋前駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩7分
銀座線/銀座駅より徒歩7分/京橋駅より徒歩7分

東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)

日比谷線/銀座駅より徒歩5分/日比谷駅より徒歩5分
丸ノ内線/銀座駅より徒歩5分
三田線/日比谷駅より徒歩5分

【申込み方法】

- 参加ご希望の方は、下記申込書に必要事項をご記入の上、郵送かFAXで送付いただくか、記載内容をメールにて送信してください。
- 申込締切:10月20日(金)(定員に達し次第締め切らせていただきます)申込時に記入いただいた個人情報については、当センターからの事務連絡のほか、各事業のご案内等に利用させていただく場合があります。

【申込み・問い合わせ先】

一般財団法人 地域活性化センター 企画・コンサルタント業務課
〒103-0027 東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階
TEL 03-5202-6133 FAX 03-5202-0755 E-mail kikaku@jcrd.jp



参加申込書

フリガナ	
氏名	都道府県 市区町村
職業(会社名)・学校名	都道 府県
TEL	市区 町村
E-mail	FAX